

平成16年4月から平成16年6月までの期間に全国各地で開催が予定されている様々なイベントを掲載しております。記事を読んで興味をもたれた方は、ぜひ一度現地を訪れてみませんか。

みちのく白河グリーンフェスタ

福島県白河市

白河市の農業や自然に対し、子供から大人まで農作物の収穫や加工などの農業体験を通じて理解を深めてもらい、「田舎暮らしの良さ」や「楽しみ」「学び」「考える」といった、グリーンツーリズム本来の魅力も体感してもらうイベントです。

<http://ns2.shirakawa.ne.jp/~snkk/guri-nnfesuta.htm>

1. 実施内容

① 宿泊コース

しいたけ植菌、大豆加工、天体観測、もちつき、民話体験（この他、②の内容も含まれます）

② 日帰りコース

ブロッコリー・しいたけ収穫体験、そば（うどん）打ち体験

2. 参加費

① 宿泊コース

大人5千円、小人4千円、
幼児（3歳以下）2千円

② 日帰りコース

大人2千円、小人千五百円

- 開催日：宿泊コース11月20日（土）～21日（日） 日帰りコース11月21日（日）
- 開催場所：市内各所（農園）・白河関の森公園
- お問い合わせ先：事務局 白河市役所農政課 TEL：0248-22-1111（内線2223）
実行委員会会長 荒井忠男 TEL：090-8783-9837



第31回町田市太陽と緑の祭り（農業祭）

東京都町田市



今年で31回目を迎えるこの農業祭は、町田市農業が活気に溢れ、ますますの発展を遂げること、そして市民を含む多くの人々への本市農業のPRと市内の緑化促進に寄与することを目的として行われています。

内容は、野菜・花・植木の品評会及び即売、生産者による直売コーナー（野菜、たまご、椎茸、植木等）、模擬店、展示（野菜大八車、野菜みこし、絵画・写真コンクール等）、その他にもコンサート、わら・竹細工体験、牛乳搾り体験、こども動物園など様々な催し物を予定しています。詳細については、10月頃町田市役所ホームページにて掲載予定です。

- 開催日：平成16年11月28日（日）
- 開催場所：町田市野津田公園
- お問い合わせ先：町田市環境・産業部農業振興課振興係担当：早坂、井上
TEL：042-724-2166（内線2493）

第4回箱根だいこん祭り

静岡県三島市

戦時中は保存食として珍重され、昭和33年には農林水産大臣賞を受賞した三島名物「箱根沢庵」を復活させようと、平成13年より開催されています。

寒風に磨かれた地元名産「沢庵だいこん」を特設会場で沢庵漬けにし、三島の冬の風物詩である「富士山とだいこん干し」の風景を再現することにより、「箱根大根たくわん漬け」の観光特産品化への取り組みを行っています。

用意された樽は完売となり、農業従事者にとっても消費者との交流、箱根高原野菜の直売という経験が刺激的な体験となっている大人気のイベントです。

- 開催日：平成16年12月5日（日）（予定）
- 開催場所：坂公民館
- お問い合わせ先：三島市役所商工観光課
TEL：055-983-2656



牛の角突き

新潟県小千谷市



体重約750～900kg、ヘビー級の体がぶつかり合う迫力満点の「牛の角突き」は、国の重要無形民族文化財にも指定されている伝統的行事です。また、その歴史は古く、徳川時代の文豪・滝沢馬琴の書いた「南総里見八犬伝」にも記述されています。

越後の闘牛は、引き分けが原則。そのため「勢子」と呼ばれる男たちが勇姿を見せてくれます。牛の足に綱をかける華麗な技術や、猛り狂う牛に飛びかかり、鼻や角を抑える勢子の活躍も見物です。

小千谷市ホームページ <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

小千谷闘牛北斗会ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad-Oasis/2062/>

- 開催日：10月3日（日）11月7日（日）
- 開催場所：小千谷闘牛場

- お問い合わせ先：小千谷市商工観光課 TEL：0258-83-3512

香椎神社秋祭

佐賀県久保田町

香椎神社が創建された治承年間（1177～1181年）以来、800年以上もの歴史を持つ香椎神社秋祭。銭太鼓という道具を持って踊る銭太鼓（ぜんじゃーこ）浮立にもりゃーしという締太鼓を胸につるした華やかな衣装の女性の一団がつき舞を披露したり、勇壮な面をつけて踊る面浮立、太鼓や鉦を打ち鳴らす鉦浮立等が奉納されます。他にも少年相撲大会や町商工会によるラムネ早飲み競争など多彩な催しで賑わいます。

- 開催日：10月17日（日）
- 開催場所：香椎神社
- お問い合わせ先：香椎神社 TEL：0952-68-2655

以上の情報の収集に当たりましては、都道府県関係課の多大なるご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

事務局からのお知らせ

日頃より、季刊「新往来」へのご協力、ご愛読に厚く御礼申し上げます。この度、より多くの方々への情報発信並びにペーパーレス化を図るため、勝手ながら本誌の閲覧をホームページのみとする方向で検討しております。ご意見等ございましたらご連絡下さい。

● 皆様からの情報提供をお待ちしております

季刊「新往来」は皆様からお寄せいただいた情報で構成されています。地域の自慢やイベントの案内など、全国に向けて発信したい情報がありましたらぜひご連絡下さい。なお、次号（第15号）につきましては、平成16年12月頃の発行を目標としております。10月下旬から編集作業に入りたいと考えておりますので、その頃までに各都道府県又は下記連絡先までご連絡下さい。全国各地の方々に「交流」に関する多くの情報の発信を行うため、皆様からお寄せいただいた情報については、できる限り掲載するよう努めておりますが、誌面スペースの関係上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

● 原稿の提出方法について

「イベント情報」以外の各記事につきましては、原稿300～400字程度、「イベント情報」につきましては、原稿200～250字程度並びに「開催日」・「開催場所」・「お問い合わせ先」の必要事項を添えて提出して下さい。関連する写真などがありましたら併せて提出して下さい。

● 編集・発行：農林水産省農村振興局農村政策課（担当＝宮崎・清水・矢野）

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL：03-3502-8111（内線：4619）FAX：03-3595-6340

・農林水産省のホームページでは、季刊「新往来」や都市と農山漁村の共生・対流など、様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧下さい。

農林水産省 (<http://www.maff.go.jp>) →トピックス 農村 農村振興局ホームページ

→都市農村交流の総合案内（季刊 新往来） (<http://www.maff.go.jp/nouson/seisaku/sinourai/index.htm>)